

## 愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

### ①第三者評価機関名

一般社団法人 福祉サービス評価センター

### ②施設・事業所情報

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 名称： 愛厚大曾根保育園                     | 種別： 保育所                  |
| 代表者氏名： 遠藤 陽子                     | 定員（利用人数）： 70 名           |
| 所在地： 愛知県名古屋市北区芦辺町3-5-5           |                          |
| TEL： 052-981-0644                |                          |
| ホームページ：http://www.ai-kou.or.jp/  |                          |
| 【施設・事業所の概要】                      |                          |
| 開設年月日：平成24年4月1日                  |                          |
| 経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 愛知県厚生事業団 |                          |
| 職員数                              | 常勤職員： 14 名<br>非常勤職員 11 名 |
| 専門職員                             | （園長） 1 名<br>（保育士） 9 名    |
|                                  | （保育士） 11 名<br>（看護師） 1 名  |
|                                  | （医師） 1 名                 |
| 施設・設備の概要                         | （保育室） 4<br>（調理室） 1       |
|                                  | （調乳室） 1<br>（事務室） 1       |

### ③理念・基本方針

- ◇ 保育理念  
子どもが主体的に活動できる保育の実現  
・一人ひとりの子どもが尊重され「自分は大切にされている」と感じ、安心して活動できる『場』を提供する。
- ◇ 保育方針  
・家庭的な雰囲気の中で一人ひとりの子供と誠実に向き合う保育をめざす。  
・異年齢・同年齢の関わりの中で子どもの力を引き出す。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

1. 子どもにとっては、異年齢の子どもとの関わりを通して様々な感情を経験し、自分と異なる存在を受け止める「縦割り保育」を取り入れ、その経験が相互に良いものになるように環境を設定し異年齢保育に積極的に取り組んでいる。
2. 子どもは、身の回りのものを触り叩いたりして感触を味わい、何かに見立てた「ごっこ遊び」を展開し、遊びの中で自分の着想を試したり工夫を凝らすなど、じっくりと遊びに取り組む考える力を育てている。こうした点を踏まえ、幼児組に「ごっこ遊び」の機会を提供している。
3. 子どもは、日々の遊びの中で新しい発見や可能性があると感じると挑戦し、目新しいものに興味を持ち、美しいもの、不思議なもの、驚くようなことに心を動かしている。子どもたちの気持ちに応えるように、保育園の特色として年長児のお茶のおてまえに取り組んでいる。

### ⑤第三者評価の受審状況

|                   |                                                                  |
|-------------------|------------------------------------------------------------------|
| 評価実施期間            | 平成29年7月13日（契約日）～<br>平成30年1月17日（評価決定日）<br><br>【平成29年12月6日（訪問調査日）】 |
| 受審回数<br>（前回の受審時期） | 初回（平成 年度）                                                        |

### ⑥総評

#### ◇特に評価の高い点

1. 小規模保育園らしく家庭的な雰囲気の中で、子どもにも保護者にも安らぎの感じられる保育園であるように努めており、「子どもの目線で、優しい笑顔で、優しい声かけ、優しい援助」この言葉を掲げ、丁寧な保育を心掛けている。

2. 縦割り保育を通して異年齢児との関わりを深め、思いやりや自主的行動力を培うとともに、その中で子どもの力を引き出すことを保育の柱の一つとしている。

3. 年間食育計画・年齢別食育計画のもと保育実践が行われているほか、食育、食の安全に力を入れ、食事・食材にも関心を持ち、調理員も保育の現場に足を運んで子どもとの交流を大切にしながら、子どもに喜んでもらえる給食の提供を心掛けている。また、午後のおやつのうち、手作りおやつを週3回提供している。

#### ◇改善を求められる点

1. 中・長期計画的な展望、単年度の事業計画に対する取り組みについて、年度ごとの目標・項目を具体化し、園全体で取り組むことを前提に年度末には達成度の評価と見直しを行う仕組みを検討されたい。

2. 保育に関する業務、健康管理や安全管理などのマニュアルは作成されているが、プライバシーの保護に関するマニュアルの整備など、マニュアルの見直しについて園全体で取り組む機会を設け、より活用しやすいものに整理されることを望む。

3. 日常的な遊びや運動を通しての体力づくりが望まれるが、園庭が狭い中で運動能力の伸びに配慮した保育に取り組んでいる。保護者の理解と協力を得ながら家庭と園での生活リズムに配慮するとともに、保護者の理解を深めることにより連携の強化を望む。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けるにあたって、園の運営体制や具体的な取り組みを見直したり、職員間で話すよい機会になったと思います。今後は、改善点として教えて頂いたことは、園の課題として職員間で話し合いをしながら、取り組んでいきたいと思っています。

### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

|                                                                                                                                                                                                                                                            |    |           | 第三者評価結果 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|---------|
| Ⅰ-1-（１） 理念、基本方針が確立・周知されている。                                                                                                                                                                                                                                |    |           |         |
| Ⅰ-1-（１）-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。                                                                                                                                                                                                                          | 保1 | a ・ ⑥ ・ c |         |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・園の経営方針、保育理念、保育方針、保育目標は明文化され、事業概要、パンフレット、入園のしおりなどに記載されており、園内にも掲示されている。</li><li>・保護者には入園説明会、保護者会などで説明しており、送迎時にも機会を捉えて周知し共通理解を図っている。</li><li>・子どもの人権の尊重が、保育理念、保育方針に明文化され、職員には職員会議などで配付し周知している。</li></ul> |    |           |         |

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |    |           | 第三者評価結果 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|---------|
| Ⅰ-2-（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |           |         |
| Ⅰ-2-（１）-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。                                                                                                                                                                                                                                                                      | 保2 | a ・ ⑥ ・ c |         |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法人本部、名古屋市・区役所民生子ども課や厚生労働省の保育に関する情報などにより、経営環境の把握に努めているが取り組みのさらなる強化を期待する。</li><li>・法人の種別施設長会議で、待機児童の増加問題、子育て不安への対応など情報の把握に努め、延長保育・短時間保育など地域の実態や変化・動向など課題の把握にも取り組んでいる。行政から提供される資料などにより地域の実態や待機児童数も把握しているものの、本部との協調により中長期的な動向など定期的に分析等を行う取り組みを期待する。</li></ul> |    |           |         |
| Ⅰ-2-（１）-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。                                                                                                                                                                                                                                                                            | 保3 | a ・ ⑥ ・ c |         |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・経営状況や経営上の課題について本部と共有化を図ったうえ周知に努めているが、園独自の運営課題は話し合いの中で、その内容を明らかにするとともに職員会議で説明し改善に取り組んでいる。</li><li>・経営状況や改善すべき課題について、園として検討の場を設けるなど組織的な取り組みを期待する。</li></ul>                                                                                                 |    |           |         |

#### Ⅰ-3 事業計画の策定

|                                                                                                                                                                                                                                                         |    |           | 第三者評価結果 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|---------|
| Ⅰ-3-（１） 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。                                                                                                                                                                                                                         |    |           |         |
| Ⅰ-3-（１）-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。                                                                                                                                                                                                                   | 保4 | a ・ ⑥ ・ c |         |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法人の第3期経営計画には保育所に関する記述は皆無に等しく、昨今の少子化問題・待機児童問題等にみられる保育所の課題について明確にするとともに、中・長期的なビジョンを明らかにした計画の策定が望まれる。</li><li>・保育の充実、子育て支援等福祉ニーズの課題における目標実現のために、保育内容・職員体制・人材確保と育成、収支バランス等を含む中・長期計画の策定を期待する。</li></ul> |    |           |         |

|                                                                                                                                                      |    |           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|
| I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。                                                                                                                 | 保5 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・園独自の課題について解決していくための計画はあるが、単年度計画と言い難いので、法人本部の指導のもとで中・長期的なビジョンに即した事業計画が策定されることを期待する。                                                        |    |           |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。                                                                                                                             |    |           |
| I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。                                                                                                  | 保6 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・年度末までに、職員全体で評価・見直しを行い課題を抽出し次年度の計画に反映する組織的な取組が求められており、事業計画作成の当事者となることで職員参加型の計画の策定を期待する。                                                    |    |           |
| I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。                                                                                                                  | 保7 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・職員には年度始めに保育課程のほかに、行事計画、食育計画など、各種計画を配付したうえで説明し理解を促している。<br>・保護者には、年間行事予定などは家族懇談会や保護者会、送迎時などで説明しているが、事業計画策定に絡む課題等について周知されていないところがあり改善を期待する。 |    |           |

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

|                                                                                                                                                                                     |    |           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|
|                                                                                                                                                                                     |    | 第三者評価結果   |
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。                                                                                                                                                  |    |           |
| I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。                                                                                                                                             | 保8 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・保育内容については保育士がその取り組みについて評価し、園長・主任保育士がチェックするとともに助言を行う体制はあるが、保育園全体の組織的な取り組みとは言えないところがあり、改善に向けて検討の余地がある。<br>・第三者評価を初めて受審するにあたり、園全体で自己評価を実施したことで課題について共有し、改善に向けた新たな取組みを始めている。 |    |           |
| I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。                                                                                                                               | 保9 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・保育園として、自己評価、第三者評価の評価結果におけるそれぞれの課題を明確にし、職員会議、クラス別会議などで検討し改善に取り組む姿勢が求められる。                                                                                                 |    |           |

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

|                                                                                                                                                                                                                                                    |     | 第三者評価結果   |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|--|
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。                                                                                                                                                                                                                           |     |           |  |
| Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。                                                                                                                                                                                                         | 保10 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 園長は愛厚大曾根保育園管理規程、事務分担表・防災規程等に役割と責任を明記し、明らかにするとともに職員に周知している。</li><li>・ 園長は日常的に園全体の把握に心がけ、朝礼、職員会議、各委員会、内部研修会などで、職員に助言するなど指導している。</li><li>・ 園長は不在時の権限委任について、正・副の役割分担を決めて明確にしている。</li></ul> |     |           |  |
| Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。                                                                                                                                                                                                             | 保11 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 園長は法令遵守について取り組みを推進しており、事業団倫理綱領、行動規範を職員に配付するとともに職員会議などで周知している。</li><li>・ 園長は個人情報の保護、守秘義務など法令を遵守する取り組みについて、職員会議などで周知を図っているが、理解をより促す具体的な取り組みを望む。</li></ul>                                |     |           |  |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。                                                                                                                                                                                                                       |     |           |  |
| Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。                                                                                                                                                                                                           | 保12 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 園長は保育に関する日々の観察や事例から課題を把握し、職員会議などで保育の質の向上のために指導力を発揮している。</li><li>・ 園長は施設独自の研修計画を立て、職員全員が何れかの研修が受講できるよう配慮し、保育の質の向上に向け指導力を発揮している。</li></ul>                                               |     |           |  |
| Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。                                                                                                                                                                                                           | 保13 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 園長は業務の効率化に向けた取り組みに努力しており、働きやすい職場環境の改善についても指導力を発揮している</li><li>・ 経営面の課題について、園全体で課題意識を共有し、業務の実効性を高める環境づくりを望む。</li></ul>                                                                   |     |           |  |

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

|                                                                                                                                               |     |           | 第三者評価結果 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|---------|
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。                                                                                                         |     |           |         |
| Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。                                                                                            | 保14 | a ・ ㊦ ・ c |         |
| <div>＜コメント＞</div> <div>・ 法人として必要な人材や人員の基準は明確になっており、本部が正職員を採用し非常勤職員は園で採用手続きを行っている。</div> <div>・ 法人として、保育園3園共同で就職フェアにブースを設け人材の確保に取り組んでいる。</div> |     |           |         |

|                                                                                                                                                                                                              |     |           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。                                                                                                                                                                                   | 保15 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・ 事業団倫理綱領・職員行動規範等に定められており、職員の任免・服務についても規程が整備され職員に周知されている。<br>・ 職員の人事評価は、自己申告シート、能力発揮度評価シート活用した総合的人事評価制度により行われており、園長のヒアリングも実施している。                                                                  |     |           |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。                                                                                                                                                                                   |     |           |
| Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。                                                                                                                                                                 | 保16 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・ 労働時間管理簿等により超過勤務を含む勤務実態を把握しており、時間外労働の削減、有給休暇の管理を行い働きやすい職場づくりに取り組んでいる。<br>・ 法人として、年1回ストレスチェックを行い希望者には産業医の面談を実施するなど、職員の心身の健康と安全の確保に努めており、健康面や悩みについての相談窓口を設け職員に周知している。                               |     |           |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。                                                                                                                                                                               |     |           |
| Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                                                                                                                                                                            | 保17 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・ 園長は、年度始めに職員一人ひとりが立てた目標について、進捗状況や目標達成度を確認するため、年3回職員の面談を行う中で評価し指導を行う取り組みがある。                                                                                                                       |     |           |
| Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。                                                                                                                                                            | 保18 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・ 年度初めに、本部の研修計画、名古屋市や民間保育園連盟主催の研修計画を参考に、保育園独自の研修計画を作成しており計画的に受講できている。<br>・ 法人本部の研修計画に基づくキャリア別、職種別の研修、施設の独自研修としては心肺蘇生法、コンプライアンス、S I D S（乳幼児突然死症候群）訓練などの研修が行われている。                                   |     |           |
| Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                                                                                                                                                                          | 保19 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・ 新規採用職員はO J Tを実施しており、プリセプター制度のもとで1年間に亘り担当保育士と保育業務に従事している。<br>・ 職員は階層別、テーマ別研修に参加したときは、研修報告として復命書を提出するとともに、他の職員には会議、回覧などで研修内容を周知している。<br>・ 施設外の研修にも参加し技術向上とスキルアップを図っているが、非常勤職員の研修についても計画的な受講を促している。 |     |           |

|                                                                                                                                                |     |           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。                                                                                                    |     |           |
| Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。                                                                                          | 保20 | a ・ ⑤ ・ c |
| <コメント><br>・ 実習生受入マニュアルは整備されており、事前訪問で施設の概要、園児の様子などを把握してもらい、実習生の要望を取り入れた実習プログラム等を確認し、受け入れを行っている。<br>・ 29年度は、既に多数の実習生を受け入れており、保育士の育成に積極的に取り組んでいる。 |     |           |

## Ⅱ-3 運営の透明性の確保

|                                                                                                                                                                                                         |     | 第三者評価結果   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。                                                                                                                                                                        |     |           |
| Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。                                                                                                                                                                    | 保21 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 法人のホームページへ、法人全般に関わることについては情報の公開がされているものの、保育園としては保育理念、施設概要、保育事業の案内やブログが掲載されているのみである。<br>・ 保育園として、知事に報告する保育内容に関することなどについて、ホームページへの掲載を検討されたい。<br>・ 保育園として、保護者や地域の理解を深めるために、パンフレットのさらなる充実を期待する。 |     |           |
| Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。                                                                                                                                                              | 保22 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 毎年、定期的に法人監査部門の監査を受け、適正な経営・運営のための取り組みが行われている。<br>・ 行政監査として名古屋市の指導監査、外部監査として公認会計士による会計監査を受けており、29年度は第三者評価の受審に初めて取り組んでいる。                                                                      |     |           |

## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

|                                                                                                                                                                                 |     | 第三者評価結果   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。                                                                                                                                                      |     |           |
| Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。                                                                                                                                            | 保23 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 近隣地域の未就園児の親子を対象に、毎月1回園庭や室内を開放して地域との交流を図っている。<br>・ 近隣の介護老人保健施設との年2回の交流、地域の小学校訪問、園の運動会や餅つき会へ町内会の方々を招待するなど、地域交流を行っている。                                                 |     |           |
| Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。                                                                                                                                    | 保24 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ ボランティアの受入はマニュアルが整備されており、ハンドベル演奏のボランティアを受け入れている。<br>・ 地域の中学生の職場体験を通じて、働く人々と接する学習活動などに協力している。                                                                         |     |           |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。                                                                                                                                                       |     |           |
| Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。                                                                                                                               | 保25 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 関係機関・団体の機能や連絡先及び緊急連絡先をまとめたリストを作成しており、必要に応じて関係機関との対応ができるよう情報を共有している。<br>・ 区の園長会、障害児連絡会などに参加したうえで情報を把握し共有するとともに、区役所民生子ども課、児童相談所、保健所などの関係機関と密接に連絡を取り、職員にも情報を提供し共有している。 |     |           |

|                                                                                                                                                                                     |     |           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。                                                                                                                                                        |     |           |
| Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。                                                                                                                                                      | 保26 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 月1回、園庭や室内を開放して地域の未就園児の保護者や子供と手遊び、わらべうたを親子で歌うなど、保護者やこどもの支援活動を行っている。<br>・ プロの人形劇を園で上演し、地域の未就園児を無償で招待する行事を行った。                                                             |     |           |
| Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。                                                                                                                                            | 保27 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 月1回、園庭開放日に来園された保護者に対し、園長、主任保育士が子育て相談を行っている。<br>・ 月1回、未就園児の親子を対象に北区役所で子育て支援ルームの手伝いを実施し、子育て家庭の支援をしている。<br>・ 年1回ではあるが北区子育て広場に参加し、手作りおもちゃコーナーや食育コーナーを担当し、子育て家庭の地域参加を推進している。 |     |           |

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

|                                                                                                                                                                                                                       |     |           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
|                                                                                                                                                                                                                       |     | 第三者評価結果   |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。                                                                                                                                                                                           |     |           |
| Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。                                                                                                                                                                          | 保28 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 事業概要及び保育課程に保育理念、保育方針、保育目標が明示され、重要事項説明書にも記載し保護者に説明したうえで同意を取り、その内容について職員に周知を図っている。<br>・ 保育課程については、平成30年4月1日より施行される保育指針の改訂に備え、改めて職員で見直しを行っている。<br>・ 子どもの尊重や基本的人権への配慮については、名古屋市保育所人権保育指針を基に、園で勉強会、研修会を実施している。 |     |           |
| Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。                                                                                                                                                                           | 保29 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ プライバシー保護についてのマニュアルは策定されていないので、不適切な事案が生じた場合を想定し対応方法等を明確にするとともに、マニュアルの整備が望まれる。<br>・ 行事写真の販売等では保護者から同意を取るシステムはできているが、そのことも含めプライバシー保護に係る事項を整理したうえで、同意を得る取扱い及び仕組みの構築を望む。                                       |     |           |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。                                                                                                                                                                           |     |           |
| Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。                                                                                                                                                                            | 保30 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・ 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料について、公共施設等で多くの人が入手できる場所に置いている。<br>・ 保育所の利用希望者、見学者については個別に丁寧な説明をしており、近隣の未就園児親子を対象に毎月1回園庭や遊戯室を開放し利用を促している。                                                                      |     |           |



|                                                                                                                                                                                                                                             |     |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。                                                                                                                                                                                                    | 保31 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・入園にあたっては、入園のしおり・重要事項説明書を配付し保育時間等に関する説明を行うとともに、わかりづらい点や保護者の質問にも個別に対応している。<br>・保育の開始や変更、保育内容の変更時における説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。<br>・保育園を選ぶための情報として言葉遣いや写真・図・絵の使用等により、誰にでもわかるような資料作りが求められる。                                         |     |           |
| Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。                                                                                                                                                                                                   | 保32 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。<br>・保護者には口頭で丁寧に伝えてはいるが、書面等で伝える工夫が求められる。                                                                                                                                      |     |           |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。                                                                                                                                                                                                                     |     |           |
| Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。                                                                                                                                                                                                   | 保33 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・利用者満足度調査として、大きな行事の後には保護者へ、アンケートを依頼し意見・要望を聞くことにより、次回の行事あるいは保育に反映している。<br>・保護者懇談会・個人懇談会・連絡ノート及び送迎時のコミュニケーションを大切にしており、常に保護者の要望を傾聴し会議等で分析検討し改善するとともに、保育の質の上昇につなげている。                                                                 |     |           |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。                                                                                                                                                                                                            |     |           |
| Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                                                                                                                                                                                                        | 保34 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・苦情解決の体制は整備されており、入園時に重要事項説明書で説明し周知したうえで、園内にも掲示している。<br>・苦情を申し出た保護者には、検討経過や結果の説明は行っているものの、苦情内容と結果について公表する仕組みづくりを期待する。<br>・苦情解決の体制が整備されて、苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等へ必ずフィードバックしている。<br>・苦情の受付、対応の状況等については、法人の規程に基づいて取りまとめたいえ、報告している。 |     |           |
| Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。                                                                                                                                                                                                | 保35 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・基本的な相談や意見の窓口は担任となっているが、担任が不在でも気軽に相談できるように配慮しており、個別の相談については必要に応じて別室を設け、丁寧に相談に応じている。<br>・玄関横に職員室があり声をかけやすい雰囲気はあるが、わかりやすい場所に意見箱を設置するなど匿名性が確保された意見聴取の方法を望む。                                                                          |     |           |
| Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。                                                                                                                                                                                                   | 保36 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・日々の保育の中で保護者からの意見について適切に対応しているが、苦情・相談について記録の整理について適切な管理を期待する。<br>・早急に苦情対応マニュアルの整備が望まれるとともに、保育の改善につなげる仕組みづくりを期待する。                                                                                                                 |     |           |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。                                                                                                                                                                                                                                             |     |           |
| Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。                                                                                                                                                                                                                                       | 保37 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・園内にリスクマネジメント委員会を設け、事故速報、インシデント報告の分析と対応策を検討するとともに、職員に周知し事故防止に努めている。</li><li>・保育室の中では、移動時における机の安全な設置場所について園独自で考案し、子どもが安全に、また保育士が環境整備しやすいように工夫している。</li><li>・インシデント・事故報告とともに再発防止につながる振り返りがしやすい記録・様式の工夫を望む。</li></ul>                |     |           |
| Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。                                                                                                                                                                                                                                  | 保38 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感染症予防と発生時対応マニュアルは作成されており、職員に周知徹底されている。一般的な保健衛生マニュアルについても、事業団3保育園の共同により策定されたものがある。</li><li>・園内で感染症が発症した時は園入り口にある掲示板に、組・日付・人数を張り出し保護者に周知するとともに、的確な対応を取るようにしている。</li></ul>                                                          |     |           |
| Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。                                                                                                                                                                                                                                            | 保39 | ㉠ ・ b ・ c |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「防災・防犯規程」「防火管理規程」が整えられており、主任保育士を甲種防火管理者として、毎月避難訓練や消防訓練を行い、防災教育記録も整備されている。</li><li>・29年度早々に義務付けられた避難確保計画は作成されており、努力義務とされた浸水避難訓練についても3階に園児を避難させる訓練を実施した。</li><li>・「不審者対応訓練」「浸水避難訓練」の各制度について対策は整えられており、不審者対応訓練を年3回実施している。</li></ul> |     |           |

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

|                                                                                                                                                                                                                       |     |           |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|--|
|                                                                                                                                                                                                                       |     | 第三者評価結果   |  |
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。                                                                                                                                                                                   |     |           |  |
| Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。                                                                                                                                                                         | 保40 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 重要事項説明書に標準的なサービスの実施方法について明示しており、保育課程、年間指導計画も適切に策定され、各種マニュアルについては職員室内に置いてある。</li><li>・ マニュアルはいつでも誰でも自由に閲覧できるようにしてあるが、年度末には見直しを行い職員へ周知徹底するための取り組みが望まれる。</li></ul> |     |           |  |
| Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。                                                                                                                                                                               | 保41 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <p>＜コメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 保育については国が定める保育指針を拠り所としており、標準的な実施方法の検証、見直しは定期的に実施されている。</li><li>・ 職員の経験差、個人差による差異を極力なくし、PDCAサイクルによる一定の水準や内容を保つための指導及び保育の共有を期待する。</li></ul>                       |     |           |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                    |     |           |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|--|
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。                                                                                                                                                                                                            |     |           |  |
| Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。                                                                                                                                                                                                               | 保42 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <div>＜コメント＞</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され機能している。</li><li>・ 毎月職員会議が開かれ、そこで各クラスの子どもの姿から話し合いが行われ、月案・週案や未満児個別指導計画・障害児個別指導計画が適切に策定されている。</li></ul></div>                                      |     |           |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                    |     |           |  |
| Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。                                                                                                                                                                                                                   | 保43 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <div>＜コメント＞</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・ 指導計画の見直しを行い、評価反省・次月の課題を見出し、それを踏まえて指導計画を策定している。</li><li>・ 年間の振り返りは2月末までに行い、翌年度の計画に生かすように努めるとともに、毎年取り組んでいる行事や活動については、パソコンを活用し事務の軽減を図り評価・見直しを行っている。</li></ul></div>                    |     |           |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                    |     |           |  |
| Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。                                                                                                                                                                                                                     |     |           |  |
| Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化させている。                                                                                                                                                                                                | 保44 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <div>＜コメント＞</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・ 子どもの発達状況や生活状況等については、園が定めた統一様式によって把握し記録されており、情報共有を目的とした会議を定期的に開催している。</li></ul></div>                                                                                                |     |           |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                    |     |           |  |
| Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                                                                                                                                                                                                                   | 保45 | a ・ ㉞ ・ c |  |
| <div>＜コメント＞</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・ 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関し定められており適切に対応しているが、具体的な内容について職員の理解度に差があり、さらなる努力を期待する。</li><li>・ 情報の開示について「福祉分野における個人情報保護に関するガイドライン」を基に、開示・非開示のルール化についての検討が望まれる。</li></ul></div> |     |           |  |

#### A-1 保育内容

|                                                                                                                                                                                                                                                |     |                   |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------|--|
|                                                                                                                                                                                                                                                |     | 第三者評価結果           |  |
| A- 1 - ( 1 )     保育課程の編成                                                                                                                                                                                                                       |     |                   |  |
| A- 1 - (1) -①   保育所の理念、保育の方針や目標にも基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。                                                                                                                                                                       | 保46 | a   ・   ㉞   ・   c |  |
| <div>&lt;コメント&gt;</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・ 保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて保育課程を編成している。</li><li>・ 保育課程は、自園の特色である縦割り保育や食育等を取り入れ、子どもの発達過程に応じ長期的見通しを持って編成されている。</li><li>・ 平成30年度には保育指針が改定されるため、より理解を深めるために研修を進めている。</li></ul></div> |     |                   |  |

| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |     |           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|-----------|
| A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  | 保47 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手拭き用タオルかけの下にマットを敷き、水滴による事故が起こらない配慮があり、トイレは常に気持ちよく使用できるように、清掃チェック表による継続的な取組がされている。</li><li>・園庭は狭いが乳児と幼児の使用時間を分けたり、年長・年中組の保育室を2歳児から5歳児の延長保育室として使うなどの工夫が行われている。</li><li>・保育室の環境整備を充実させるために「子どもたちの遊び環境及び、遊具の選び方・遊び方」の研修を年2回行っている。</li></ul>                                                       |  |     |           |
| A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 保48 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・園全体で、保護者・子どもの理解を深め、丁寧な声掛けや心配りをしており、子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し尊重した保育を行っている。</li><li>・子どもの自由な発想を受け止めむやみに規制することなく、ゆったりとした雰囲気を中心掛けており、トラブルや不安感のある子には、保育士がいち早く気づき傍に寄って、園児の気持ちを受け止めるなどきめ細かな関わりや援助をしている。</li><li>・個別の指導計画やインシデントの記録に、同じ事故が重なった事例についても援助方法が見直され具体的に記載されている。</li></ul> |  |     |           |
| A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  | 保49 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一人ひとりの子どもの発達に合った、基本的な生活習慣を身につけられるよう環境整備、援助を行っている。</li><li>・手洗いで水道の使い方や手洗いの仕方など丁寧に援助し、子どもが身につくまで保育士が見守っている。</li><li>・3歳児の食事の場面では、会話を楽しみながら食事が進められるように援助し、個々のトレーには口拭きがあり子どもが適宜使用している。</li><li>・トイレにおいて未満児室の便器には仕切りがないので、当然のこととして配慮が必要であり改善が求められる。</li></ul>                                     |  |     |           |
| A-1-(2)-④ こどもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 保50 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2歳児から5歳児のたてわり保育を週2日行っており、お店屋さんごっこ、忍者ごっこ、レストランごっこなど縦割り保育のごっこ遊びに力を入れている。</li><li>・5歳児と2歳児のペア、3歳児と4歳児のペアを決めて活動する中で、大きい人は小さい人と関わる機会としたり、世話をすることで自信を持つことや小さい人は大きい人への憧れを持つなど子どもの力を引き出す保育方針の下、保育実践が展開されている。</li></ul>                                                                                |  |     |           |
| A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  | 保51 | a ・ ㉞ ・ c |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家庭との連携を密にしながら、0歳児の発達に応じて必要な保育を行っている。</li><li>・園で取り組んでいるわらべ歌研修を保育に活かし、0歳児の午睡前の時間に保育士が歌って聞かせている。</li></ul>                                                                                                                                                                                      |  |     |           |

|                                                                                                                                                                                                                                                          |     |           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                | 保52 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・子どもが安心して自発的な活動ができるよう、環境の整備をしながら一人ひとりの気持ちを受け止めるとともに、友だちとの関わりを丁寧に伝えている。<br>・自我の成長と共に自己主張が強く出る時期であることから、生活の切り替わりにはトラブルが出やすいが、子どもの気持ちに寄り添いながら信頼関係を作る実践を行っている。                                                                                     |     |           |
| A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                       | 保53 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・3歳児の保育室には、加配保育士が配置され、ゆとりを持って落ち着いた丁寧な保育が実践されており、適切な環境のもとで保育の内容や方法に配慮は十分されている。<br>・4歳児8名、5歳児16名の合同保育をしており、保育室も広く落ち着いた環境が用意された中で、子どもは十分に自己発揮し活動に取り組んでいる。<br>・保育士は、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意して保育実践しており、子どもたちは、素直でのびのびと保育園生活を楽しみ、進んで挨拶をする姿が見られる。 |     |           |
| A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                      | 保54 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・障害に応じた環境整備、保育の内容や方法に配慮されており、子どもの特徴や生活のペースを急がずことなく見守り、子どもが自己を十分に発揮できるよう長期的な見通しをもって保育が行われている。<br>・個別指導計画を作成し、集団の中で仲間の一人として安定した生活が送れるように加配保育士が配置されている。                                                                                           |     |           |
| A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                                                                                                                                                                                                           | 保55 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・子ども主体の計画性をもった取り組みを行っており、年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。<br>・日中の子どもの様子を引き継ぎ、必要に応じて主任保育士が保育に入って事故や怪我の再発を未然に防ぐ努力をしている。                                                                                                                                |     |           |
| A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。                                                                                                                                                                                                | 保56 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・幼保小懇談会に参加し意見交換を行うとともに、小学校の行事にも参加するなど連携を図っており、保育所児童保育要録も的確に記録し送付をしている。<br>・交通安全計画には、3月に「小学校入学に向けて登校マップ」を作ったり、保護者とともに小学校までの通学路を一緒に歩き、危険箇所を話し合うなどの保護者支援を行っている。                                                                                   |     |           |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                |     |           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----|-----------|
| A-1-(3) 健康管理                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                |     |           |
| A-1-(3) -①                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 子どもの健康管理を適切に行っている。                             | 保57 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づいて子ども一人ひとりにおける心身の健康状態を把握している。<br>・感染症の早期発見・早期治療に努めるとともに、保護者には流行しやすい病気の掲示をし注意喚起を促している。<br>・SIDS（乳幼児突然死症候群）の実施訓練を行い、保育の現場では睡眠チェックが行われている。<br>・年1回のAEDを使った訓練や心肺蘇生訓練に職員全員が参加し、職員の質の向上に努めている。                                                                |                                                |     |           |
| A-1-(3) -②                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。                        | 保58 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・健康診断、歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させて保育が行われている。<br>・薄着の励行、手洗い・うがいの大切さを保護者への保健指導として位置付けており、手洗い指導についても毎日の生活だけでなく、全体指導により子どもたちが身に付くようにしている。<br>・4・5歳児を対象としたフッ化物口洗は、園長が薬剤管理を行い、看護師が薬液を作り、週3回実施されており、歯磨き指導は歯科衛生士と栄養士の講話を合わせて年1回実施している。                                                          |                                                |     |           |
| A-1-(3) -③                                                                                                                                                                                                                                                                                   | アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | 保59 | a ・ ㉞ ・ c |
| <コメント><br>・アレルギー疾患のある子どもに対して「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに子どもに応じた適切な対応を行っている。<br>・「アレルギー児」ファイルを作成するとともに、毎月献立表を基に調理員、担当保育士と除去すべき食材をチェックし保護者に伝えている。<br>・アレルギー児がみんなと一緒のおやつを食べられるように小麦を米粉にするなど配慮をしている。<br>・アレルギー児の誤食を防ぐために、トレーや食器を変えている。<br>・1年に1回はアレルギー検査を行い、検査結果を基に医師の指示を受けてアレルギー対応を行っている。         |                                                |     |           |
| A-1-(4) 食育、食の安全                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                |     |           |
| A-1-(4) -①                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。                         | 保60 | ㉠ ・ b ・ c |
| <コメント><br>・食育計画が作成されており、保育課程・指導計画に位置付けられている。<br>・調理員は2名配置されており、今日の献立を手書きで毎日玄関に掲示したり、家庭に配布される献立表に人気のメニューや乳幼児期の「食」の大切さを伝えるレシピの提供が調理員により実践されている。<br>・献立の検討を調理員と保育士が情報交換しながら提供する献立の評価・改善をしている。                                                                                                   |                                                |     |           |
| A-1-(4) -②                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。                | 保61 | ㉠ ・ b ・ c |
| <コメント><br>・子どもの好き嫌いや食べ具合など担当保育士から聞いたり、実際に調理員が保育室に出向き給食を食べるなどの交流がある。<br>・衛生管理の体制を確立しマニュアルに基づき衛生管理が適切に行われており、衛生点検記録簿等により残食量を記録して分析し調理に生かしている。<br>・食育計画の中には保育園の菜園で採れた夏野菜を提供したり、行事食や季節感のある献立に配慮している。<br>・誕生会の親子会食では誕生児の要望を聞き取り、好きな小旗を手作りで添えるなど心の交流を大切にするとともに、季節の食材や行事食を取り入れたり地域の方と餅つき会を開いたりしている。 |                                                |     |           |

## A-2 子育て支援

|                                                                                                                                                                                                 |     | 第三者評価結果   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携                                                                                                                                                                               |     |           |
| A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                                                                                                                                                         | 保62 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・ 様々な機会を利用して保護者と子どもの成長を共有できるよう支援を行うとともに、保護者会総会、クラス懇談会、保育参観、行事や誕生会への参加などにより積極的に連携を図っている。<br>・ 日常的な情報交換は連絡ノートで行っており、園だより・クラスだより・給食だより等の園からの配付物で家庭とのコミュニケーションを図っている。                     |     |           |
| A-2-(2) 保護者等の支援                                                                                                                                                                                 |     |           |
| A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                                                                                                                                                            | 保63 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・ 日々のコミュニケーションにより保護者との信頼関係を築くよう取り組みを行っており、保護者からの相談に応じる体制がある。<br>・ 個々の保護者の思いや意向、要望、不安や悩みなどについて、相談しやすい雰囲気や信頼関係があり、個別相談しやすい環境の中で、必要に応じて担当保育士、主任保育士、園長が役割分担をしながら支援している。                   |     |           |
| A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。                                                                                                                                          | 保64 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・ 保護者の些細な兆候を見逃さないよう、保護者に声を掛け信頼関係の構築に努力しており、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。<br>・ 虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応について、マニュアルにもとづく研修を行い周知するとともに、必要に応じて児童相談所等の関係機関との連携がスムーズに繋げるよう連絡体制が整えられている。 |     |           |

## A-3 保育の質の向上

|                                                                                                                                                                                 |     | 第三者評価結果   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)                                                                                                                                                    |     |           |
| A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。                                                                                                                     | 保65 | a ・ ⑥ ・ c |
| <コメント><br>・ 主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。<br>・ 月に1回の職員会議で子どもの姿を出し合い、保育園全体の保育実践の振り返り(自己評価)につなげる努力をしている。<br>・ 自己評価は、「子どもの育ちを捉える視点」と「自らの保育を捉える視点」を持って、保育の質の向上につなげるよう今後とも努力を続けられたい。 |     |           |